

## 国際ユース作文コンテスト・若者の部



「国際ユース作文コンテスト」で優秀賞を受賞した服部さん(左)と佳作賞の川原君(右)＝松本市埋橋で

# 服部さん(2年)が優秀賞

松本秀峰中等教育学校(松本市埋橋)の二年服部桂さん(左)が、「国際ユース作文コンテスト・若者の部」で「優秀賞」を受賞した。国内外から応募があった八千九百四十三点の中から、最優秀賞(一人)に次いで三人に贈られる賞で「受賞できると思っていたので、とても驚きました」と喜んでいいる。同校では三年の川原航君(右)が「佳作賞」を受けたほか、同校も「学校特別賞」を受賞した。

(佐藤裕介)

同コンテストは五井平内(松本市)で思いを書く。同校で和財団(東京)が主催は毎年、国語の授業の一環として、十六回目。小中学生を対象に「子ども部」と、高校生～二十五歳を対象に「若者の部」があり、今回は「心の中に平和を築く」をテーマに行われた。若者の部は千六百字以内で思いを書く。同校で和財団(東京)が主催は毎年、国語の授業の一環として、十六回目。小中学生を対象に「子ども部」と、高校生～二十五歳を対象に「若者の部」があり、今回は「心の中に平和を築く」をテーマに行われた。

## 松本秀峰「平和」題材 川原君(3年)は佳作

にはさまざまな考え方があふれている。川原君は「平和とは、人が人のことを思いやり、助け合うこと」とし、東日本大震災で多くの人に津波が来ることを知らせ、自身は亡くなった男性の行動に触れながら思いを伝えた。「自分の考えを文章にするのが難しかった」と振り返った。生徒らの作文を指導している野口喬教諭(左)は「こつとした作文を通じ、生徒たちが平和についての理解を深めていってほしい」と話している。表彰式は十二月に東京で開かれる。